

Terminal

ないとうようこ写真展

今作「Terminal」は、日本人である写真家ないとうようこ氏が、ベルリンの終着駅周辺の風景を捉え、現代の社会的情勢と私的な感情を重ね合わせた最新作シリーズである。ないとう氏は写真の国際コンペティションとして最も重要な賞のひとつにあたる「ソニー ワールド フォトグラフィー アワード」を2015年に受賞し、ベルリンのaquabitArt Galleryで開催される本展「Terminal」は、この作品シリーズを発表する初めての場となる。

2015年彼女がドイツのベルリンを訪れた時に、このプロジェクト「Terminal」はスタートした。その際、作品のインスピレーションとなったのは、ベルリンを走る電車の路線図だった。ないとう氏はそれを片手にベルリン各線の終点駅を訪れ、見知らぬ土地の新鮮な印象や景色をカメラに収めていったのである。2016年、彼女は約7年間活動の拠点としていたニューヨークを離れベルリンへ移住。そしてこのプロジェクトをさらに発展させ完成に至った。

作品の中に見られるないとうようこ氏の視点は、ただ目の前に広がる瞬間を切り取っただけではなく、深く心理的なものに訴えかける。彼女は住み慣れた土地を離れる心情や、たどり着いた見知らぬ場所での生活で生まれる不安定な心理状況を、このベルリンの終点駅周辺の景色を写した本作に投影した。そのままざしは、今日のヨーロッパで起こっている難民などの社会的な状況にも結び付き、やがて作品を見る者の心に様々な感情を呼び起こしていく。そこには好奇心、期待、希望、または緊張、不確かさ、不安そして孤独が混在する。ないとう氏はそれらの感情と向き合い、写真というメディアを使って巧みに表現しているのである。

静けさと緊張感の漂う彼女の作品の世界観を目にした時、人々は自分自身にも問いかけることが出来るかもしれない。終点駅「Terminal」の向こう側に広がる世界には何がまだあるのかと、そしてここが終着地「Terminal」になるのかと。

ないとうようこ

日本大学芸術学部写真学科卒業後、東京での会社勤務を経て2009年にニューヨークへ移住。写真家としてのキャリアをスタートさせる。これまでに日本、米国、ヨーロッパ各地で個展開催やグループ展に多数参加。2015年には「ソニー ワールド フォトグラフィー アワード」プロフェッショナル部門「トラベル」カテゴリーで第3位を受賞、同時に「ライフスタイル」カテゴリーでもファイナリストに選出される。2014年・2015年、清里フォトアートミュージアム「ヤングポート・フォリオ」入選。彼女の作品は美術館や施設のコレクションとしても所蔵されている。2016年よりドイツ・ベルリンを拠点に活動。www.yokonaito.com

写真展情報

開催場所： aquabitArt Gallery
住所： Auguststr. 35, 10119 Berlin Germany (www.art.aquabit.com)
開催期間： 2017年6月12日(月)～6月26日(月)
開館時間： 6月13日(火)～6月25日(日) 12:00~20:00
6月12日(月)、6月26日(月) 招待または予約のみ
レセプション： 6月16日(金) 19:00時より ※出展アーティストないとうようこ氏が在廊
キュレーター： 横山佳世

助成・協力：

NOMURA 野村財団 **SONY**

※会期中は会場にキュレーターが在廊しています。

※展示や作家など詳細については、キュレーター横山佳世(k.yokoyama(at)gmx.de)までお気軽にお問い合わせください。